

2015年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	10:00 納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
3憲法記念日 7:00日曜礼拝	4みどりの日 7:00日曜礼拝	5こどもの日 13:30踊り教室	6振替休日 13:30踊り教室	7	8 13:30 れんげの集い (仏教婦人会)	9 10:00 あんのん堂合同参拝
10 7:00日曜礼拝	11	12	13 12:30ヨガ教室	14	15	16 13:30グランドゴルフ 15:00雅楽教室
17 7:00日曜礼拝 11:00総会 13:30永代経	18 【講師】 小池秀章師 (山口県)	19 13:30踊り教室	20 10:00 クリスタルヨガ	21	22	23 15:00壯年会法座 第2回 「お正信偈に聞く」
24 7:00日曜礼拝	25 9:00ボラン寺 (寺報発送)	26	27 12:30ヨガ教室	28	29	30
31日曜礼拝						<来月の予定> 20日(土)「定例法話会」

天ちゃんの一言

★門信徒会会費の早期、5ヶ年まとめての納入について~ご協力下さい
寺務の簡便化のため、大変助かります。納入はお寺へお持ちいただき、同封の用紙でお振り込み下さい。また会費についてご不明な点がある場合は、お寺までお気軽にお問合せ下さい。今後ともお寺の活動にご理解ご協力いただけますよう、お願ひ申し上げます。

★エコキヤップ回収活動について~引き続きよろしくお願ひ致します

これまで約30万個が集まりましたこと、感謝申し上げます。回収先のエコキヤップ推進委員会の寄付先が問題となっていますが、現在のところ身近な社会活動として続けていきたいと思っております。

★5/30カナダ・カルガリーで開催 4年ぶり第15回仏教婦人会世界大会

ご門信の皆上留美子さん、坊守、静香で参加します。前回のハワイ大会では日系人の方々のご苦労を聞き、故国日本やご先祖、そして阿弥陀さまへの深い思いに触れ、大変有難かったです。今回も楽しみです。

門信徒会

ご一緒に浄土真宗のみ教えを聴きませんか。入会隨時受付中。

毎月、お寺のたよりと仏教冊子を配布しています。法要や法話会にお参りしましょう。年会費は一戸三千円。



浄土真宗本願寺派 天真寺
〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809
www.tenshin.or.jp



☆天真寺永代合葬墓 やすらぎ堂☆
維持管理や跡継ぎの心配がないお墓です
松戸市大町やすらぎパーク内にあります

月刊 天真 5月号

発行日 2015(平成27)年5月1日
発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
第458号

人生は
長さじゃない
深さです
幅です



仏の智慧を
ほめたたえ
その功德を
人々に伝えよう

仏慧功德をほめしめて
十方の有縁にきかしめん
信心すでにえんひとは
つねに仏恩報すべし

「浄土和讃」

前門さま著 浄土真宗一口法話「あけぼのすぎ」より

私たち僧侶にとって難問の一つは、ご門徒からの「漢文のまま拝読するお経がちんぷんかんぷんで解らない」という苦情です。ところが、現代語に翻訳して拝読すると、今度は、有難くないといわれます。私の当面の解決案は、法要では漢文を主にしてご和讃や現代語訳を加えたりするとともに、法要とは別の機会に、お経の内容を勉強していただきたいということです。

お釈迦さまが説かれたお経、親鸞聖人の書かれた正信偈は阿弥陀如来さまとその教えを讀えるために拝読すると言えるでしょう。ただ、内容を理解するだけであれば、黙って読めば良いわけです。音楽の素晴らしさが、楽譜を見、歌詞を読んで、理解するものではなく、節を付けて歌い、喜びや悲しみを共にするところにあるように、お経も声に出すところに、感情が伴い、一層、有難くいただくことができます。

お経の根本は後生の一大事、いのちの根本問題の解決です。そのための道を聞かせていただると、喜びが湧き、自分も声に出して唱えたくなる、他の人に聞かせたくなるのです。

経典や正信偈によって、迷いの世界を超えた阿弥陀如来さまのお心を聞かせていただき、阿弥陀如来さまに従って、迷いを超える道を歩みたいと思います。



公開壯年会法座 第2回 「お正信偈を読む」
5月25日(土) 午後3時より 天真寺
参加自由・参加費なし
学びの一歩をどなたでも!!

現代社会の特色は、この世に強い関心が向けられるようになったことでしょう。ところが、現実には、人生の豊かさ、深さを考えるよりも、体の若さ、健康、長生きを大事にするようになりました。それも、意味はありますが、それが全部ではありません。今の日本では、歳を取ることも大変な仕事です。

親鸞聖人は平生業成の教えを説かれました。臨終が来てから、あわてて阿弥陀如来さまにすがるのでなく、臨終ではなくて平生すなわち、今、ここに、南無阿弥陀仏をいただいて、生死の問題を解決し、阿弥陀如来さまの光の中に、共に、歩む道を築き、育てたゆくことです。

「これから何を目指すか。何を抛り所に生きるか」をおろそかにしたままでは、せっかく長生きしても、世話をされる方も、する方も、つらく、悲惨になります。若さ、健康を誇ると、誰かを傷つけるかもしれません。

お念佛をいただくものとして、個人の生き方を考えるとともに、世の中の仕組みにも、工夫をこらしていきたいものです。

一天真寺門信徒総追悼法要一

永代経法要



【日 時】

5月17日(日)

【講 師】

小池秀章師

10:30 受付
11:00 総会
12:00 昼食
13:30 永代経法要

本願寺派布教使
教證寺衆徒(山口県)
京都女子中学校・高等学校
教諭(宗教科)

【著書】

「高校生からの仏教入門」
(本願寺出版社)

どなたでもご自由にお参り下さい

□当日、午前11時より門信徒会総会が開催されます。ぜひ総会にもご出席下さい。午後の法要にお参りいただくため、総会後に昼食の用意がありますので、参加人数をご記入下さい。万が一欠席の場合には、必ず返信ハガキにて委任状をお送り下さい。(5/10必着)

□今月号には振込用紙を同封しておりますので、門信徒会費の納入をお願い致します。事務の簡便化のため、5年分をまとめて下さると大変助かります。お寺に直接お持ちいただいても結構です。早めに納入下さいようご協力下さい。

□役員の皆様には、午前10時にご集合下さい。当日のお手伝いよろしくお願い致します。



■バス無料送迎便■お気軽に利用下さい!

12:00 JR北小金駅南口
SATY前五大ホーム

12:15 マツエツ小金原店駐車場

12:20 栗ヶ沢公園前ファミリーマート

12:40 天真寺

13:00 新京成線八柱駅南口

メガネスーパー前

13:10 新京成線常盤平北口 2番バス停

13:20 天真寺

※法要後、帰りの便もあります

● 永代経法要ってどんな法要ですか?

天真寺では年に五つの法要を「五大法要」として、厳粛且つ盛大に営んでいます。その五つとは、春秋お彼岸、お盆、親鸞聖人のご命日を縁としてつとめる報恩講、そしてこの永代経法要です。お彼岸やお盆は日本の季節行事としてもなじみが深いものでしょうが、永代経は知らない方も多いのではと思います。

永代経は門信徒の方々によるご懇念によってお寺が護持され、お念佛のみ教えが永代に受け継がれていくことを願ってつとめる法要です。それは、いのちを恵まれた私たちが、法要を縁として、仏恩報謝の心をあらわすことです。その心はやがて子や孫に受け継がれ、み教えを聞き広めるご縁となります。ご法義を大切にされる方々の思いが、永代経法要であるともいえるのです。

天真寺では法名軸を莊厳し、門信徒総追悼法要として営みます。お念佛をよろこび、亡き方々を偲ぶご縁として、ぜひ法要にお参りしみ教えを聞かせていただきましょう。今年のご講師は宗門校の先生ですので、大変わかりやすくお話下さいます。また、この度の法要にあたり永代経懇志をお考えの方は、お寺までご相談下さい。皆様のご参拝を、心よりお待ちしております。

合掌

天真寺 今月の法座案内

8日(金) 13:30 れんげの集い(婦人会)
17日(日) 13:30 永代経法要
23日(土) 15:00 壮年会法座「正信偈に聞く」

天真寺 天ちゃん募金

「できる人が、できることを」をモットーに続けてきたお寺のボランティア活動。これまでにカンボジアの子ども支援や、貧困や戦争で苦しむ国々への募金活動などを行っています。皆様のあたたかいお気持ちをお寄せ下さい。

[郵便振替]00270-5-82663

[加入者名]天ちゃん募金



お仲間の声

おめでとうございます!築地で修了式

千葉組第7期門徒推進員養成連続研修修了式が3月29日(日)築地本願寺第二伝道会館「蓮華殿」にて行われました。二年に及ぶ研修の修了者は北ブロック47名、中ブロック34名、南ブロック59名、計140名に修了証が渡されました。修了式は真宗宗歌、お勤め(正信念仏偈)に始まり挨拶、修了証書交付と進み、天真寺(北ブロック)からの4名(斎藤雅子さん、弟子丸俊吾さん、吉田博彦さん、若松嶺夫)も無事修了証を授与されお互いに心を新たにしました。

修了証交付の後、北畠晃融築地本願寺宗務長の記念法話があり「仏教」、「聴聞」、「凡夫」等々の意味合いを改めて確認、二年間の研修を振り返る時間もありました。(二年間の研修内容等は寺報3月号に弟子丸さんが書かれています。)

閉会の後、懇親会が行われ顔見知りとなった北ブロックはもちろん、初めてお会いする他ブロックの修了者とも御縁を頂きお寺の話はもちろん地域自慢、観光案内まで楽しく交流させて頂きました。なお、弟子丸さんは修了式当日は都合により欠席、修了証は預かりました。

(記:若松嶺夫さん、写真:太田忠勝さん)



左:左から斎藤さん、吉田さん、若松さん。おめでとうございます!右:左端小林さん、右端太田さん。門徒推進員のお二人も式にご参加下さいました。



次回のメンバー募集中です。ぜひみ教えと一緒に学びませんか。ご参加お待ちしております!

お聴聞の一年を!仏法は聴聞にきわまる

- 6月20日 / ● 7月20日
- 8月15~16日 「新盆法要・お盆法要」
- 9月23日(秋分の日)「秋のお彼岸法要」

住職の独り言

お寺の日々はホームページ
「天眞寺通信」でチェック!

「散る桜」(4/5) 散る桜 残る桜も 散る桜
桜は、散りたくないとか、寂しいとか、離れたくないとか…、そんなことは言いません。苦悩もなく、あるがまま自然に身をまかせて大地へ還り行く。散りゆく桜の美しきかな。

春本番(4/1) 常盤平のさくら通りも開花し、いよいよ春本番!着ている洋服も一枚一枚脱ぎ捨てて薄着となり行動も身軽になったけど、私の心は未だ冬のまま。私の煩惱も洋服と同じようになればいいけれど…、色々な煩惱を着込んだまだ。

回向を首とす(3/27) 朝一番、寺務所で今日の予定を確認し、何を第一にしようかと考えるが…。阿弥陀さまのお心をたずねてみると、『正像末和讃』に示される。如来の作願をたづねれば 苦惱の有情をすてずして 回向を首としたまひて 大悲心をば成就せり (阿弥陀さまが衆生を救わざにはおかないという願いを起こされた本意をたずねてみると、悪業煩惱によって苦しんでいる衆生を救うためであった。阿弥陀さまの功德のすべてを一切衆生に差し向け与えることを第一として、大慈悲心である名号を成就された。)

阿弥陀さまの第一は、この私を救うことであった。当たり前に過ごしていた一日が、阿弥陀さまに願われ生かされる一日であることを知られた時、本当のよろこびの人生がはじまるのでしょうか。お聴聞が大切です。

ラジオで新番組「築地本願寺の時間」がスタートしました。文化放送1134HZで毎週日曜5:10~20の放送です。朝早い時間ですが、日曜の朝♪♪♪は早起きしてぜひ聞いて下さいね。

